平成25年度

施策評価シート

政策

施策

13

施策名

次代を担う子どもを安心して生み育て 13 ることができる環境づくり

施策担当 部局

保健福祉部,経済商 工観光部,教育庁

「宮城の将来 ビジョン」にお ける体系

政策名

子どもを生み育てやすい環境づくり 6

評価担当 部局 (作成担当 課室)

保健福祉部 (子育て支援課)

施策の目的

出産や子育てに関する不安が減り,少子化の状況が改善されている。

○ 仕事と生活の調和が図られ、夫婦が共に協力しながら子育てを行っている。

子育て家庭の多様なニーズに応じた各種保育サービスが提供されている。

○ 地域住民の連携と協力のもと,地域全体で子育てを行う環境が整備され,子どもが健 康で社会性豊かにはぐくまれている。

(目標とする 宮城の姿)

○ 身近な地域で、産科や小児科など母と子どもの大切な命を支える医療体制が充実し、 安心して出産や育児を行う人が増えている。



◇ 少子化の流れに歯止めをかけるため,市町村・企業・NPOなどとの連携・協働により,少子化対策を総合的に推進 する。

◇ 県民一人一人が子育てに関心を持ち、宮城の将来を担う子どもたちを地域全体で育てる機運を醸成するため、

施策の方向

「宮城の

将来ビジョン

-震災復興

実施計画」の

行動方針)

「子育て支援を進める県民運動」を展開する。

◇ 働きながら子育てを行う従業員等が、育児休業の取得や職場復帰しやすい環境を整備するため、企業等における

仕事と子育ての両立に向けた取組を支援する。 ◇ 子育てを行う親の多様なニーズにこたえるため,保育所入所待機児童の解消に向けた保育所整備等の促進,家

庭的保育、延長保育など各種保育サービスや放課後児童クラブの充実に向けた取組を支援する。

◇ 不登校や引きこもりなど悩みを抱える子どもや、子育てに不安・問題を抱える親や家族に対し、相談・指導の充実 を図る。

◇ 関係機関の連携により、児童虐待を未然に防止するための調査や相談などの専門的な支援を行うとともに、早期 発見や保護児童等に対する援助を行うなど、迅速かつ的確な対応を推進する。

◇ 周産期・小児救急医療体制の充実に取り組むとともに、不妊治療を行う夫婦に対する支援を行う。

決算(見込)額	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算額)	平成25年度 (決算(見込)額)
(千円)	県事業費	2,535,700	2,845,355	3,458,103

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」

目標 指標

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

<u> </u>	LWEST DOCCEDWC) 21		順區// (1////)1匝	口"冰"區/			
等		初期値	目標値	実績値	達成		計画期間目標値
		(指標測定年度)	(指標測定年度)	(指標測定年度)		達成率	(指標測定年度)
1	合計特殊出生率	1.29	1.38	1.30	D		1.40
1	百司 竹外山生学	(平成20年)	(平成24年)	(平成24年)	Ъ	94.2%	(平成25年)
9_1	育児休業取得率(男性)(%)	4.1%	6.0%	3.6%	<u> </u>		6.0%
2-1		(平成21年度)	(平成25年度)	(平成25年度)		60.0%	(平成25年度)
2_2	育児休業取得率(女性)(%)	75.8%	85.0%	61.0%	C		85.0%
2-2		(平成21年度)	(平成25年度)	(平成25年度)		71.8%	(平成25年度)
3	保育所入所待機児童数(仙台市を除く)(人)	511人	0人	433人	C		0人
3	休月別八別付機九里数(百川を 休入)	(平成21年度)	(平成25年度)	(平成25年度)		15.3%	(平成25年度)

施策評価 (原案)

やや遅れている

評価の理由

・「合計特殊出生率」は,前年実績より0.05ポイント上昇したものの,一般的に合計特殊出生率は,大都市圏において低い傾向 にあり、本県においても仙台市の合計特殊出生率は、例年、県平均を下回り、県全体の率を下げる要因になっているなど少子 化傾向は厳しい状況となっている。なお、達成率は目標値の94.2%であることから「B」と評価した。

指標

- ・「育児休業取得率」は, 男性では前年実績より0.4ポイント低下し達成率60.0%であり「C」と評価した。また, 女性においても前年 実績より25.7ポイント低下し達成率71.8%であり「C」と評価した。男性,女性とも目標値と逆方向に推移しており,ワーク・ライフ・ バランスの推進や取得率の向上に向けた環境づくりを進めていく必要がある。
- ・「保育所入所待機児童数」は,前回実績より待機児童数が減少したものの,潜在的待機児童も多いことから解消まで至らない 状況である。なお、達成率は15.3%であることから「C」と評価した。

県民 意識

・平成25年県民意識調査について、類似する取組である震災復興の政策2施策2「未来を担う子どもたちへの支援」の調査結果 を参照すると、高重視群83.7%、満足群が48.7%、満足度の「分からない」が30.4%となっている。平成24年県民意識調査において も, それぞれ87.7%, 51.5%, 25.5%となっており, 県民の関心は高いものの, 十分に満足が得られているとはいえない傾向が見ら れる。

・平成25年(測定年:平成24年)の合計特殊出生率は全国の1.41に対して,本県は1.30(全国42位)であり,人口の維持水準と される約2.1と比較しても下回っている状況である。出生率が向上しない主な原因として,晩婚化の進行,夫婦の出生力の低 下,子育てに対する経済的負担の増大,結婚・出産に対する価値観の変化等が考えられる。

経済 情勢

- ・平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から本格施行を予定し ており,新たな幼保連携型認定こども園の創設,許可・指導権限の一本化,新たな子ども・子育て支援給付の創設などの制度 改正が行われる見通しである。
- ・全国的に虐待相談件数は増加傾向が見られ、本県でも震災の影響による家庭環境の問題などから、児童虐待事案の増加が 危惧されており、関係機関との連携をより一層強化した対応が求められている。
- ・施策を構成する事業に関しては、様々な子育て支援事業の推進を図ったことや、周産期・小児医療体制の充実に取り組んだ ことにより,安心して子育てできる社会環境の整備などで一定の成果が出ており,概ね順調に推移していると考えられる。

果等

・以上のとおり、事業評価で一定の成果があるものの、目標指標では全ての指標が目標値に達しておらず、「育児休業取得率」 の成については男性・女性とも目標値と逆方向に推移している。加えて、県民意識調査においても県民の関心以上に満足度が得ら れているとはいえない状況であることから、施策の目的である「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」 は、やや遅れていると判断する。

※ 評価の視点: 目標指標等,県民意識,社会経済情勢,事業の実績及び成果等から見て,施策に期待される成果を発現させ ることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針 (原案)

課題 対応方針

・震災からの復旧・復興に取り組む一方で、少子化対策を着実に 推進し、安心して子育てができる社会の実現に向け、引き続き取り 組む必要がある。

・次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境を整備 するため, 地域全体で子育てを支援する機運を醸成していくため の「県民運動」を継続して展開していくとともに、今後とも、国、市 町村,企業,関係団体等と連携を図りながら,少子化対策のため の各種取組を着実に推進していく。

・職場における仕事と子育ての両立(ワーク・ライフ・バランス)にあ たっては、企業側に生産性の低下などといったマイナスのイメージ が依然としてあることから、一層の意識啓発を図るとともに、企業側 の取り組みを推進するための支援が必要である。

・国の労働関係機関と連絡調整を緊密に行うとともに市町村とも連 携し、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発と働く親を支援す るサービスの普及に努め、また、企業等の育児休業制度に対する 理解と積極的な活用や、職場復帰しやすい環境の整備など、労 働者の仕事と子育ての両立に向けた取組・支援を更に推進してい

・住民サービス向上のための財源確保については各自治体でも 苦慮しているところである。更に,財源やサービス等の一元的な制 度を構築する「子ども・子育て関連3法」が成立し、平成27年度か ら「子ども・子育て支援新制度」の本格施行が予定されており、今 後,制度改正に伴う市町村における住民のニーズ把握とそれに対 応したサービス量と質の確保など, 適切な実施が求められる。

・厳しい財政状況に置かれている現状を踏まえながらも、基金等を 活用し, 待機児童解消推進事業の実施等によって保育所等の整 備促進を図るなど,引き続き子育て環境の改善に努める。また, 「子ども・子育て支援新制度」については、国の詳細な制度設計 等,今後の動向を注視するとともに,実施主体となる市町村と連携 しながら新制度への移行を着実に進めていく。

平成25年度

政策 6 施策 13

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値ー初期値)/(目標値ー初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値ー実績値)/(初期値ー目標値)

		ここで日保こりる	り1日1示・(1	D 粉 恒 一	大限 但 / .	/ (17J #7J	旦 口 1示	:				
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	1.45				
	合計特殊出生率	指標測定年度	H20	H22	H23	H24	H25					
	[フロー型の指標]	目標値	-	1.32	1.35	1.38	1.40	1.4			-	••
1	15歳から49歳までの女子 の年齢別出生率を合計し	実績値	1.29	1.30	1.25	1.30	_				2000	
	たもので,1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。	達成率	-	98.5%	92.6%	94.2%	-	1.35		⊘ ∕′	<i>></i>	
	・平成17年に出生数 平成25年時点で出生 る。この場合の平成2 を根拠 するためには年平均 す指標として多く使え 標としている。)	生数20,000人への 25年の合計特殊 J0.03ポイント程度	の回復を 出生率は その上昇を	当面の目 t, 1.40程 が必要とな	標として 度となり, なる。(少	設定した。 この目標 子化の状	らのであ を達成 況を表	1.25				
	・実績値は、前年値は 置換水準(長期的に る約2.1を大きく下回	人口が安定的に	維持され	いる合計物	持殊出生	率の水準		1.2		-	ı	
値4	・宮城県は,全国値 国平均 や近隣 県等と に に に に に に に に に に に に に			っており,	全国順位	立で42位	,東北		H20	- ~	H23 H24 ■ 目標 ■ 実績 — 参考(全	
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	7 [
	育児休業取得率(男性) (%)	指標測定年度	H21	H23	H24	H25	-	6			→	
2-1	[フロー型の指標]	目標値	-	5.0	5.5	6.0	-			ه م	y	
	当該年度の間に配偶者が出産した者のうち、当該年	実績値	4.1	2.3	4.0	3.6	-	5		*		
	度の所定の期日(基準日 =調査により異なる)までの 間に育児休業を取得した 者の割合	達成率	-	46.0%	72.7%	60.0%	-	4	•			
目标設定	・国が平成19年12月 おいては,平成29年 票値のり,全国の男性の育 定根拠 取得率は,平成21年	の数値目標とし 児休業取得率は 三度4.1%であるこ。	て,男性の ,平成20 とから,こ	の育児休 年度1.2% れらの状	業取得率 6, 本県の 況を勘案	さた10%とし 男性の育 し, 国の-	ンてお ず児休業 平成29	3				
	年の目標値(10%)を 年度目標数値として		っ, 毎年0	.5%程度の	の伸びを	目標に,	平成25	2 -				
	・平成24年度から0.4 推移していることから ランスを推進する。							1 -		1		
値 他!	国平均 や近隣 県等と ・比較)の状況 秋田リ	₹3.1%	」形県0.7	%福島県	₹3.3%			H21 F	123 H	24 H25 	目標

平成25年度

政策 6 施策 13

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値ー初期値)/(目標値ー初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値ー実績値)/(初期値ー目標値)

		ことを日標とする	0括憬∷(1	奶 期恒一	美領 他)	/ (旦一日倧	:1世)				
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	100				
	育児休業取得率(女性)	指標測定年度	H21	H23	H24	H25	_	90			^	
	(%) [フロー型の指標]	目標値	-	78.0	82.0	85.0	-	80	_	,-/\\	, - \$	
2-2	当該年度の間に出産した者のうち、当該年度の所定	実績値	75.8	66.2	86.7	61.0	-	70		<u> </u>	\	
	の期日(基準日=調査により異なる)までの間に育児 休業を取得した者の割合	達成率	-	84.9%	105.7%	71.8%	_	60				
	・国が平成19年12月							50				
	おいては、平成29年 票値の り、全国の女性の育り 定根拠 休業取得率は、平成	児休業取得率は 21年度75.8%でる	,平成20 あった。こ	年度で90	0.6%, 本り ら, 全国値	見の女性(の育児	40 30				
	あることなども考慮し	,第1期目標値を	と超えて8	5.0%とした	Ć.							
	・県内事業所におけ 20%程度下回る状態							20				
	情値の ンスの推進や仕事と を進めていく必要が	家庭の両立を支						10	_			_
	- 近隣県(平成25年)							0	H21 H2	3 H24	H25	_
値 他!	国平均 や近隣 県等と り比較	27 - 24 NOL 17 M),(O 1.0%	H/I//NC)	шуукоол				-	◆ 目標 ■ 実績	
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	600				_
	保育所入所待機児童数 (仙台市を除く)(人)	指標測定年度	H21	H23	H24	H25	-	500				
3	[目標値を下回ることを 目標とする指標]	目標値	-	341	171	0	-	300		_	•	
	保育所入所申込がされて おり,入所要件に該当して	実績値	511	343	447	433	-	400	\			
	いるが,保育所に入所して いない児童数	達成率	-	98.8%	18.8%	15.3%	-		H	(
	・児童福祉法第24条 るところがある場合に 保育所において保育 保育所入所待機児重	こおいて, 保護者	から申込 ない。」と	みがあっ 規定され	たときは, ているこ	それらの	児童を	200		\ <u>\</u>		
	・平成25年度においれ、平成24年度から・保育所整備は年々ら、待機児童数の解・引き続き安心こどもる。	待機児童が減少 着実に推進して 消まで追いつか	した。 いるものの ないことが	の, 潜在的 ドー番の	的な待機 要因と考;	児童も多 えられる。	いことか	100				
値 他!	■平均 や近隣 県等と り比較	在における待機	児童数に	は,平成2	1年度と比	:較し78丿	減の		H21 H2	3 H24	→ 目標 → 実績	

平成25年度

政策 6 施策 13

宫	城の)将来ビジョン	/推進事業									
評価番	事業番	事 業 名	平成25年度 決算見込額 (千円)				事業	美の状況	兄			
号	号	事業主体等	特記事項									
1	1	子育て支援を進 める県民運動推 進事業	10,000	け, 長期の される等, [‡] の影響が懸	仮設住宅等 地域における 係念されること もの育ちを地	概要 お甚大な被での生活を る子育て支援 とから, 宮城 地域社会全体	余儀なく 受活動へ の将来	計3回 ・アニメ の作成 配布 (A3)1	ぎっこ応援 団, 延べ244 むすび丸	4人参加 を使ったポ スター(B1) リーフレッ	の開催 『スター, パ 1,051か所 ト6,173か原	ンフレット , ポスター 所
		保健福祉部		①必要性		の分析結果 3効率性	次年度	一	年度	医別決算(男	見込)額(千	円)
			震災復興		成果が	概ね効率			H22	H23	H24	H25
		子育て支援課	2 ②③	妥当	あった	的	維持	持	-	4,917	4,861	10,000
2	2	次世代育成支援 対策事業	568	被害を受け ているため 施策の推進 策地域協議	十子育てを取 ,震災復興ル 進に当たり、2 養会の提言等 的な事業進想	もや家庭がれた。 の巻く環境がにおける子育 次世代育成。 等を踏まえ、 手を図る。	「変化して支援を で支援 支援対		平成25 5 代育成支援 大き子育て <i>会</i>		協議会の	開催:1回
		保健福祉部		① 必要性		の分析結果 3効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算(身	見込)額(千	円)
		子育て支援課	震災復興	妥当	成果が	効率的	拡		H22	H23	H24	H25
			228	, , ,	あった 事業相	.,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		亚成25名	4,436 丰度の実 施	349	568 =
3	3	「学ぶ土台づく り」普及啓発事 業	3,273	アを必要と 形成」が平 たことから, が連携して 制づくりを行	り幼児期の多 する状況とな 時以上に欠 啓発等を行 子どもの育っ	をくの子どもだけ、 はり、「親子間かせない状だっ。また、関う ちを支えるた	別の愛着 況となっ 係機関	・市町/ 田町) ・「親に ・「学」 ・「学」 ・「7圏: 回,北部		調査の実施 (3市町:台)教育推進)」推進連絡)」圏域別ワ 大河原2回	(12月) 日石市,岩 事業」実施 各会議の開 アークショッ ,仙台2回	沼市,村 i校29校 催(年2 プの開催 ,北部2
		 教育庁	取組15 再掲			の分析結果	治左 帝 <i>《</i>		年度	医別決算(身	見込)額(千	-円)
			震災復興	①必要性	ある程度	③ 効率性 概ね効率			H22	H23	H24	H25
		教育企画室	6 20	概ね妥当	成果が あった	的	拡	充		135	10,802	3,273
4	4	「仕事」と「家庭」 両立支援事業	23,150	め, 子育て センター」 <i>0</i>	を援助する り市町村設置	版要 の両立を支持 「ファミリー・・・・」 置の促進や, な啓発を行う。	ナポート・ 雇用環	「仕事」 安心こ 金を交	リー・サポー と「家庭」i	両立支援事 ・用いた運営	一設置市 事業補助金	打に対し, に加え,
		経済商工観光部	取組18に再 掲	①以再州		の分析結果	次年度の	· 古白州	年度	医別決算(身	見込)額(千	円)
			14g	①必要性	②有効性 ある程度	③ 効率性 概ね効率			H22	H23	H24	H25
		雇用対策課		妥当	成果が あった	的	維持	持	-	910	1,260	23,150

					事業相	再再			亚式25名	王庶の宝성	5状況・成界	B
				 	•	ル女 , 震災等の影	影響も老	· 字 心			保育所整個	
						,展火守の の多い3歳未			- こ 0 金 並 : 「(ほか繰起		休月/月至	/fil
	5	待機児童解消推	797,278			:保育所整備 爰等を行う。		·家庭的	内保育者育		実施	
	່	進事業	/97,278	庭的保育者	ずの育成支援	爰等を行う。		受講	者 119人			
5												
		/D /25 4= 1.1 +2			事業の	の分析結果				- Du st. Art / I	3 3 3 AT 7 AT	
		保健福祉部		①必要性		③効率性	次年度の	方向性	年	を別決昇()	見込)額(千	-円)
		 子育て支援課	震災復興	妥当	成果が	効率的	拡	#	H22	H23	H24	H25
		丁月(又饭味	220	女ヨ	あった	304-10	1)4,)L		602,664	523,315	797,278
					事業概	既要			平成25年	手度の実施	状況・成男	F
						した保育サー			呆育:13か月			
		// // // // // // // // // // // // // 				こ伴う勤務形 :育サービス			呆育:1か所 病後児保			
	6	保育対策等促進 事業	333,929	提供を支援		:月リーレム-	事表の		州倭兄保 内保育利用		(
		7.7.		JCV (C) (1)	() (()				呆育:77か月		•	
6												
					古 坐 /	N스뉴(숙표						
		保健福祉部		①必要性		D分析結果 ③効率性	次年度の)方向性	年度	医別決算()	見込)額(千	円)
			震災復興		成果が	概ね効率			H22	H23	H24	H25
		子育て支援課	2 23	妥当	あった	的	拡	充	_	251,985	287,145	333,929
					事業権	既要			平成25年	- 度の実施	■状況・成界	Ę
				放課後児		引用児童数6	の増加	・国庫	甫助適用ク			
						つニーズ及び			助適用クラ	ブ(市町村	総合補助金	金):3か
	7	児童クラブ等活動の光恵業	331,489		に対応する	ため、放課後	後児童ク	所				
		動促進事業		ノノの連呂	を又抜りる。							
7												
		保健福祉部		①必要性		の分析結果 ③効率性	か 年度の	古向性	年度	医別決算()	見込)額(千	-円)
			震災復興	①必要性	②有効性	③効率性			年度 H22	₹別決算(」 H 23	見込)額(千 H24	·円) H25
		保健福祉部 子育て支援課	震災復興 2② ❸	① 必要性 妥当			次年度の 拡					
					②有効性 成果が	③効率性 効率的			H22 -	H23 257,895	H24	H25 331,489
				妥当 不登校や	②有効性 成果があった 事業権引きこもり、	③効率性効率的既要震災に伴う景	拡張	充 ・子ども	H22 - 平成25 ⁴ メンタルク	H23 257,895 丰度の実 が リニック開	H24 286,235 近状況・成男 所延べ日数	H25 331,489 ≹ ★:390日
		子育て支援課		妥当 不登校や ど, 心に不	②有効性 成果が あった 事業権 引きこもり, が 安を抱えるり	③効率性効率的既要震災に伴う景計量とその親	拡張 を響な に対す	充 ・子ども ・子ども	H22 - 平成254 メンタルク メンタルク	H23 257,895 丰度の実 が リニック開 リニック患	H24 286,235 近状況・成男 所延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ≹ ★:390日
	8	子育て支援課		妥当 不登校や ど, 心に不行 る専門的な	②有効性 成果があった 事業相 引きこもり、 安を抱えるリケアを行うと	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景 記章とその親 ともに、社会	拡撃を を響な に対す 会的・精	充 ・子ども ・子とも ・子ま	H22 - 平成25年 メンタルク メンタルク メンタルク	H23 257,895 丰度の実が リニック開 リニック患 , 再診:4,0	H24 286,235 近状況・成男 所延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ≹ ★:390日
	8	子育て支援課	228	妥当 不登校や ど, 心に不行 る専門的な	②有効性 成果があった 事業相 引きこもり、 安を抱えるリケアを行うと	③効率性効率的既要震災に伴う景計量とその親	拡撃を を響な に対す 会的・精	充 ・子ども ・子 ・子 ・子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25 ⁴ メンタルク メンタルク は:1,035人 延べ人数	H23 257,895 季度の実施 リニック開 リニック患 , 再診:4,0:6,155人	H24 286,235 近状況・成男 所延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ≹ ★:390日
8	8	子育て支援課	228	妥当 不登校や ど, 心に不行 る専門的な	②有効性 成果があった 事業相 引きこもり、 安を抱えるリケアを行うと	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景 記章とその親 ともに、社会	拡撃を を響な に対す 会的・精	充 ・子ども ・子 ・子 ・子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 メンタルク メンタルク メンタルク	H23 257,895 季度の実施 リニック開 リニック患 , 再診:4,0:6,155人	H24 286,235 近状況・成男 所延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ≹ ★:390日
8	8	子育て支援課	228	妥当 不登校や ど, 心に不行 る専門的な	②有効性 成果があった 事業権 引きこもり、対 安を抱えるリ ケアを行うと (図るための	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景 きとその親 ともに、社会 取組を支援	拡撃を を響な に対す 会的・精	充 ・子ども ・子 ・子 ・子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25 ⁴ メンタルク メンタルク は:1,035人 延べ人数	H23 257,895 季度の実施 リニック開 リニック患 , 再診:4,0:6,155人	H24 286,235 近状況・成男 所延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ≹ ★:390日
8	8	子育て支援課子どもメンタルサポート事業	228	妥当 不登校やど,心に不ら専門的な神的自立を	②有効性 成果があった 事業相引きこもり、 安を抱えるリケアを行うと 図るための 事業の	③効率性 効率的 既要 震災に伴う 意とその親 ともに、社会 取組を支援	拡 を響な は に対す は に対す は の ・精 する。	元 ・子ども ・子子が ・子子 新者 ※平成	H22 - 平成254 シメンタルク シメンタルク は:1,035人 延べ人数 226年2月オ	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 , 再診:4,6 :6,155人 ∈現在	H24 286,235 5状況・成 新延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ★ 2:390 日 5,116人
8	8	子育て支援課	228	妥当 不登校や ど, 心に不行 る専門的な	②有効性 成果があった 事業権 引きこもり、対 安を抱えるリ ケアを行うと (図るための	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景 きとその親 ともに、社会 取組を支援	拡撃を を響な に対す 会的・精	元 ・子ども ・子子が ・子子 新者 ※平成	H22 - 平成254 シメンタルク シメンタルク は:1,035人 延べ人数 226年2月オ	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 , 再診:4,6 :6,155人 ∈現在	H24 286,235 近状況・成男 所延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ★ 2:390 日 5,116人
8	8	子育て支援課子どもメンタルサポート事業保健福祉部	228	妥当 不登校や ど,心に不 る専門的な 神的自立を ①必要性	②有効性 成果があった 事業相引きこもり、 安を抱えるリケアを行うと 図るための 事業の ②有効性	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景 記さもに、社会 取組を支援 の分析結果 ③効率性	拡う ジ響な に対すす 会的・精 する。	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成254 シメンタルク シメンタルク は:1,035人 延べ人数 226年2月オ	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 , 再診:4,6 :6,155人 ∈現在	H24 286,235 5状況・成 新延べ日数 者実人数:	H25 331,489 ★ 2:390 日 5,116人
8	8	子育て支援課子どもメンタルサポート事業	228	妥当 不登校やど,心に不ら専門的な神的自立を	②有効性 成果があった 事業相引きこもり、 安を抱えるリケアを行うと 図るための 事業の	③効率性 効率的 既要 震災に伴う 意とその親 ともに、社会 取組を支援	拡 を響な は に対す は に対す は の ・精 する。	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成254 メンタルク メンタルク は:1,035人 延べ人数 226年2月オ	H23 257,895 下度の実が リニック開リニック患, 再診:4,0 :6,155人 三現在	H24 286,235 転状況・成場 所延べ日数 者実人数: 81人)	H25 331,489 ▼ 数:390日 5,116人
8	8	子育て支援課子どもメンタルサポート事業保健福祉部	228	妥当 不登校や ど,心に不 る専門的な 神的自立を ①必要性	②有効性 成果があった 事業相引きこもり、3 安を抱えるリケアを行うと で図るための 事業の ②有効性 成果が	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景 きともに、支援 の分析結果 ③効率性 効率的	拡う ど響な に対すす 会的・精 する。	充 ・子どでも ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 シメンタルク お:1,035人、 延べ人数 226年2月末 年度 H22 - 平成25年	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 ,再診:4,6 :6,155人 ≅現在 軽別決算 (1 H23 7,347 車度の実が	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数: 81人) 記込)額(千 H24 8,629 転状況・成男	H25 331,489 対:390日 5,116人 一円) H25 11,121
8	8	子育て支援課子どもメンタルサポート事業保健福祉部	228	妥当 不登校やど、心に不ら。専門的な神的自立を ①必要性 妥当	②有効性 成果があった 事業権 引きこもり、か 安を抱えてうさい で図るための 事業の ②有効性 成果った 事業の 取まり、か 取るための 事業の で図るための 事業の で図るための 事業の まり、か ない。 で図るための 事業の で図るための のまる。 で図るための のまる。 で図るための のまる。 で図るための のまる。 で図るための のまる。 で図るための のまる。 で図るための のまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でのまる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でいる。	③効率性効率的既要震災にそう景きさもに、支援か分析結果③効率的効率的既要質環境等の	拡 を響な に対すする。 次年度の 維	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 シメンタルク お:1,035人、 延べ人数 226年2月末 年度 H22 - 平成25年	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 ,再診:4,6 :6,155人 ≅現在 軽別決算 (1 H23 7,347 車度の実が	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数 者実人数: 81人)	H25 331,489 対:390日 5,116人 一円) H25 11,121
8	8	子育て支援課子どもメンタルサポート事業保健福祉部子育て支援課	228	妥当 不登校やど,心に不ら専門的な神的自立を ①必要性 妥当 震災の影童	②有効性 成果かた 事業もり、から すをかえている。 事業の ②有効性 成あった。 事業の でである。 です。 でである。 です。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 です。 です。 でである。 です。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景震・ともに、支援 か分析結果 ③ 効本性 効率的 数要 でである。 「できる。 「できる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「ないっとなる。 「ないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとないるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。」 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。」 「ないっとなるない。」 「ないっとない。」 「ないっとないるない。」 「ないっとないるないないないないないないないないないないないないないないないないないない	拡	充 ・子どでも ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 シメンタルク お:1,035人、 延べ人数 226年2月末 年度 H22 - 平成25年	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 ,再診:4,6 :6,155人 ≅現在 軽別決算 (1 H23 7,347 車度の実が	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数: 81人) 記込)額(千 H24 8,629 転状況・成男	H25 331,489 対:390日 5,116人 一円) H25 11,121
8	8	子育て支援課 子どもメンタルサポート事業 保健福祉部 子育て支援課 子ども虐待対策	228	妥当 不登校やど,心に不ら専門的な神的自立を ①必要性 妥当 震災の影童	②有効性 成果かた 事業もり、から すをかえている。 事業の ②有効性 成あった。 事業の でである。 です。 でである。 です。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 です。 です。 でである。 です。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景震・ともに、支援 か分析結果 ③ 効本性 効率的 数要 でである。 「できる。 「できる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「ないっとなる。 「ないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとないるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。」 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。」 「ないっとなるない。」 「ないっとない。」 「ないっとないるない。」 「ないっとないるないないないないないないないないないないないないないないないないないない	拡	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 シメンタルク お:1,035人、 延べ人数 226年2月末 年度 H22 - 平成25年	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 ,再診:4,6 :6,155人 ≅現在 軽別決算 (1 H23 7,347 車度の実が	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数: 81人) 記込)額(千 H24 8,629 転状況・成男	H25 331,489 対:390日 5,116人 一円) H25 11,121
8		子育て支援課子どもメンタルサポート事業保健福祉部子育て支援課	11,121	妥当 不登校やど,心に不ら専門的な神的自立を ①必要性 妥当 震災の影童	②有効性 成あった事業もり、りののののののののののののである。事業のである。②有効性ののののののののである。事業のである。②有効性のののののののののである。事業のである。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用して	③効率性効率的既要震災にそう景きさもに、支援か分析結果③効率的効率的既要質環境等の	拡	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 シメンタルク お:1,035人、 延べ人数 226年2月末 年度 H22 - 平成25年	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 ,再診:4,6 :6,155人 ≅現在 軽別決算 (1 H23 7,347 車度の実が	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数: 81人) 記込)額(千 H24 8,629 転状況・成男	H25 331,489 対:390日 5,116人 一円) H25 11,121
8		子育て支援課 子どもメンタルサポート事業 保健福祉部 子育て支援課 子ども虐待対策	11,121	妥当 不登校や不らな。 不心に的立を で、専門自立を 要性 の 必要性 妥 実 災 い 児童 相談 宝 に 別 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関	②有効性 成あった事業もり、りののののののののののののである。事業のである。②有効性ののののののののである。事業のである。②有効性のののののののののである。事業のである。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用している。事業を使用して	③ 効率性 効率的 既要 震災に伴う景震・ともに、支援 か分析結果 ③ 効本性 効率的 数要 でである。 「できる。 「できる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「のからなる。 「ないっとなる。 「ないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。 「ないっとないるない。 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。」 「ないっとなるない。 「ないっとなるない。」 「ないっとなるない。」 「ないっとない。」 「ないっとないるない。」 「ないっとないるないないないないないないないないないないないないないないないないないない	拡	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 シメンタルク お:1,035人、 延べ人数 226年2月末 年度 H22 - 平成25年	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 ,再診:4,6 :6,155人 ≅現在 軽別決算 (1 H23 7,347 車度の実が	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数: 81人) 記込)額(千 H24 8,629 転状況・成男	H25 331,489 対:390日 5,116人 一円) H25 11,121
		子育て支援課 子どもメンタルサポート事業 保健福祉部 子育て支援課 子ども虐待対策	11,121	妥当 不登校や不らな。 不心に的立を で、専門自立を 要性 の 必要性 妥 実 災 い 児童 相談 宝 に 別 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関	②有効性 成あっままり、りるりを かがあるところうとの事ももえそうとの②有果った事ももえそうとの②有果った事をとれる事なり、りるりをとれる事なり、りるりをとれる事なり、りるりをとれる事をとれる事を持たされる事を持たされる事を持たされる事を持たされる事を持たされる事をよる増びによる事を表する事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる<	③ 効率性 効率的 要に伴っを支援をした。 の分。 一次では、できた。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか	拡	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 シメンタルク お:1,035人、 延べ人数 226年2月末 年度 H22 - 平成25年	H23 257,895 車度の実が リニック開 リニック患 ,再診:4,6 :6,155人 ≅現在 軽別決算 (1 H23 7,347 車度の実が	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数: 81人) 記込)額(千 H24 8,629 転状況・成男	H25 331,489 対:390日 5,116人 一円) H25 11,121
		子育て支援課 子どもメンタルサポート事業 保健福祉部 子育て支援課 子賞も表	23,085	妥当 不登校でできる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	②有効性 成あっままり、別をアンスの 事ももえ行めの 事業の でである。②有が、 事業の では、 事をアンスの をアンスの のである。事業の では、 のので。 の。 の。 のでは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	③効率性 効素を 対象を 対象を 対象を 対象を は、とに、を 対象を は、とに、を 対象を は、とに、を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象	拡 ジ響なす に的・する。 次年度の 変化にかの なこ、等の 場から	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成254 メンタルク は:1,035人 延べ人数 年度 H22 - 平成254 年度の虐	H23 257,895 下度の実が リニック患, 再診:4,0:6,155人 〒現在 E別決算 (リ H23 7,347 下度の実が 待相談件	H24 286,235 近状況・成男 新延べ日数: 81人)	H25 331,489 ★:390日 5,116人 円) H25 11,121 ≹
		子育て支援課 子どもメンタルサポート事業 保健福祉部 子育て支援課 子ども虐待対策	2②❸ 11,121 23,085 取組25に再掲	妥当 不登校や不らな。 不心に的立を で、専門自立を 要性 の 必要性 妥 実 災 い 児童 相談 宝 に 別 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関 に 関	②有効性 成あっままり、りるりを かがあるところうとの事ももえそうとの②有果った事ももえそうとの②有果った事をとれる事なり、りるりをとれる事なり、りるりをとれる事なり、りるりをとれる事をとれる事を持たされる事を持たされる事を持たされる事を持たされる事を持たされる事をよる増びによる事を表する事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる事をとれる<	③ 効率性 効率的 要に伴っを支援をした。 の分。 一次では、できた。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 の分。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか。 のか	拡	充 ・子ども ・子子 ・子子 ・子子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成254 メンタルク は:1,035人 延べ人数 年度 H22 - 平成254 年度の虐	H23 257,895 下度の実が リニック患, 再診:4,0:6,155人 〒現在 E別決算 (リ H23 7,347 下度の実が 待相談件	H24 286,235 転状況・成男 新延べ日数: 81人) 記込)額(千 H24 8,629 転状況・成男	H25 331,489 ★:390日 5,116人 円) H25 11,121 ≹
		子育て支援課 子どもメンタルサポート事業 保健福祉部 子育て支援課 子賞も表	2②❸ 11,121 23,085 取組25に再	妥当 不登校でできる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	②有効性 成あっままり、別をアンスの 事ももえ行めの 事業の でである。②有が、 事業の では、 事をアンスの をアンスの のである。事業の では、 のので。 の。 の。 のでは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	③効率性 効素を 対象を 対象を 対象を 対象を は、とに、を 対象を は、とに、を 対象を は、とに、を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象	拡 ジ響なす に的・する。 次年度の 変化にかの なこ、等の 場から	た ・子とも ・子子が ・子子が ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・	H22 - 平成254 メンタルク は:1,035人 延べ人数 年度 H22 - 平成254 年度の虐	H23 257,895 下度の実が リニック患, 再診:4,0:6,155人 〒現在 E別決算 (リ H23 7,347 下度の実が 待相談件	H24 286,235 近状況・成男 新延べ日数: 81人)	H25 331,489 ★:390日 5,116人 円) H25 11,121 ≹

10	10	母子保健児童虐 待予防事業	49,409	つ病を早期 影響等への 村における	事業権 や虐待要医 相に発見する 適切な支援 乳児家庭全 とに対する補	の一つであ りとともに,震 髪を行う。また 注戸訪問事業 前助を行う。	災に伴う 上,市町	虐待予 合セン・産後さ 産婦を	寸の母子係 ・防に関する ター)。 うつや育児 早期発見		等を対象が 実施した(」 を を を EPDSを活り	こ,児童 (子ども総 の高い妊 用した訪
		保健福祉部		(1) A H. H.		の分析結果		\ 	年度	医別決算(身	見込)額(千	-円)
				①必要性	②有効性 ある程度		火牛度0.	ノカin性	H22	H23	H24	H25
		子育て支援課		妥当	成果があった	概ね効率 的	維	持	-	366	700	49,409
11	12	小児救急医療対 策事業	32,531	解消するた	事業権 なけがや発 めの取組を	熱等に対す	る不安を			拝度の実施)実施(毎 F 日実施)		-
		保健福祉部				の分析結果			午由	医別決算(身	ヨンストタ百(ユ	-
		体性伸性的		①必要性		③効率性	次年度の)方向性				
		医療整備課		妥当	ある程度 成果が	概ね効率	維	挂	H22	H23	H24	H25
		达 凉 走 佣 环		女司	あった	的	小庄 3	1.1	-	18,353	32,445	32,531
					事業相	既要			平成25年	- 度の実施	- 5状況・成身	.
12	13	不妊治療相談・ 助成事業	110,813	費の一部を	を受けてい :助成すると。 「不妊・不育 。	ともに、その	相談活	院に委 ・不妊治 り15万	託して実施 台療を受け 円を限度に	がによる相談 施し,90件の ている夫婦 二年度当た 助成した(F	の相談に応 帚を対象に り2回(通算	,1回当た 第5年間)
		 保健福祉部		3.2 m.ll.		の分析結果	\n_F = 0	\ 	年度	医別決算(身	見込)額(升	-円)
		保健福祉部		①必要性	②有効性	3効率性	次年度の	方向性				
		保健福祉部 子育て支援課		① 必要性 妥当	②有効性 ある程度 成果が		次年度の		年度 H22	E別決算(5 H23 108,978	見込)額(干 H24 138,352	一円) H25 110,813
13			19,116	妥当 産科医師 務状況とな 取り扱った	②有効性 ある程度 成果があった 事業様 等が減少かいること 産科医師等	③ 効率性 概ね効率的	維 過酷な勤 分娩を 指す研	持 ・産科 24医療 ・産科	H22 - 平成25年 医等確保支 機関に対 医等育成支	H23 108,978 車度の実施 支援事業に し分娩手当 支援事業に	H24 138,352 5状況・成り より,病院, らの補助を より,1医療	H25 110,813 果 助産所等 行った。
13		子育て支援課 地域周産期医療 提供体制確保事 業	19,116	妥当 産科医師務状況とな 取り扱った。 修医に対す の確保を図	②有効性 ある程度 成あった 事業が 等が減ること 産科医師等 でいること である手当の支 る。 事業(0)	③ 効率性 概 物 物 的 概 要 で 不 足 し , i 。 等 を 産 科 を 目 た 給 を 支 援 し の 分 析 結 果	過酷な勤 分娩を 指す研 ,産科医	特 ・産科B 24医療 ・産科B し研修	H22 - 平成25年 医等確保支 機関に対 医等育成支 医手当の补	H23 108,978 季度の実施 交援事業に し分娩手当 支援事業に 補助を行っ	H24 138,352 5状況・成身 より,病院, もの補助を より,1医療 た。	H25 110,813 ま 助産所等 行った。 機関に対
13		子育て支援課 地域周産期医療 提供体制確保事	19,116	妥当 産科医師 務状況とな 取り扱った。 修医に対す	②有効性 ある程度 成果かた 事業が 等が減少かる 全 発手当の支 る ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	③ 効率性 概 物 物 的 概 要 で 不 足 し , i 。 等 を 産 科 を 目 た 給 を 支 援 し の 分 析 結 果	過酷な勤 分娩を 指す研 ,産科医	特 ・産科B 24医療 ・産科B し研修	H22 - 平成25年 医等確保支 機関に対 医等育成支 医手当の补	H23 108,978 季度の実施 交援事業に し分娩手当 支援事業に 浦助を行っ	H24 138,352 5状況・成身 より,病院, 4の補助を より,1医療 た。	H25 110,813 果 助産所等 行った。 機関に対
13		子育て支援課 地域周産期医療 提供体制確保事 業	19,116	妥当 産科医師務状況とな 取り扱った。 修医に対す の確保を図	②有効性 ある程があっまれ 等がはる師のを を を を を を を を を を を を を を を を を を を	③ 効率性 概 物 物 的 概 要 で 不 足 し , i 。 等 を 産 科 を 目 た 給 を 支 援 し の 分 析 結 果	過酷な勤 分娩を 指す研 ,産科医	・産科E 24医療・産科E し研修	H22 - 平成25年 医等確保支 機関に対 医等育成支 医手当の补	H23 108,978 季度の実施 交援事業に し分娩手当 支援事業に 補助を行っ	H24 138,352 5状況・成身 より,病院, もの補助を より,1医療 た。	H25 110,813 ま 助産所等 行った。 機関に対
13		子育て支援課 地域周産期医療 提供体制確保事 業 保健福祉部	19,116	妥当 産科医師務状況ったが 10 必要性 妥当 地域の再生 医療の 10 必要性 医療の 11 を 12 を 12 を 12 を 13 を 14 を 15 を 15 を 16 を 16 を 16 を 16 を 16 を 16	②有効性 ある程度が ある果かた 等が減少かと を で の を の を の を の を の の の の の の の の の の	③ 効率性 概	過酷な勤 分分が研 指す科医 次年度の 維 調産期	特 ・ 24 医 4 所	H22 - 平成25年 医等確保対法医等手当のを を選集を表する。 本 を	H23 108,978 F度の実施 に受事娩事をでした。 「大きない」 「大きない」 「大きない」 「大きない」 「大きない」 「大きない」	H24 138,352 志状況・成男より,病院にからまり,1医療の補助医療をより,1を動物を表している。 記込)額(千年44 17,262 武状況・成男子記低についる。 はいいている。 はいている。 はいている。 はいいている。 はいいている。 はいいているいはいる。 はいいているいはいるいはいるいはいるいはいるいはいるいはいるいはいるいはいるいは	H25 110,813 果 助産所等行った。 機関に対 H25 19,116 果 国産期牧 エ重児支援 明スタッフ の補助を
	15	子育地提業保 医周事方店日日支度月月財日日日ま月日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日日ま日日日日日ま日日日日日日ま日日日日日日日ま日日<		妥当 産科医師務状況ったが の の 確保を を	②有効性あの性あの成あの事がい医当事効程がた事がい医当事効程がた事力を果った事計を事計を図る事計を	③ 効率性 概要 の 等産を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	維持を対する。	特 ・産経 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 医機 関	H23 108,978 F度の実 施にでして、	H24 138,352	H25 110,813 110,81
	15	子育て支援課 地域周体 福福 部 保		妥当 産科医師務状況ったが 10 必要性 妥当 地域の再生 医療の 10 必要性 医療の 11 を 12 を 12 を 12 を 13 を 14 を 15 を 15 を 16 を 16 を 16 を 16 を 16 を 16	②有効性 あ成あの事がい医当 事がい医当 事効程がた 事がい医当 事効程がた 事がい医当 事効程がた 事がと等す のである。 事がと等す のである。 事がと等す のである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事はなる。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がとのである。 事がした。 まがした。 事がした。 まがし。 まがし。 まがし。 まがし。 まがし。 まがし。 まがし。 まがし	③ 効率性 概要 の 等産を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	維持を対する。	特 ・産経 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H22 - 平成25年 医機等手当の本 医機等手当の本 年度 H22 - 平成25年 大コホーのも事 大コホーのも事 に、ネ院・ネに、ネに、ネに、ネに、ネに、ネに、・・・・・・・・・・・・・・・・・	H23 108,978 F度の実 に当たりです。 「大きない」では、 「ないまない」では、 「ないまないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまないまない」では、 「ないまない」では、 「ないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	H24 138,352 広状況・成身より,補助院を療い、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	H25 110,813 110,81
	15	子育地提業保 医周事方店日日支度月月財日日日ま月日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日ま日日日日ま日日日日日ま日日日日日日ま日日日日日日日ま日日<		妥当 産科医師務状況ったが の の 確保を を	②有効性あの性あの成あの事がい医当事効程がた事がい医当事効程がた事力を果った事計を事計を図る事計を	③ 効率性 概要 の 等産を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	維持を対する。	特 ・ 全 ・ 全 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	H22 - 平成25年 医機 関	H23 108,978 F度の実 施にでして、	H24 138,352	H25 110,813 果 助産所等 行った。 機関に対 19,116 果 国産期牧 球重児を継続し 最を継続し ととという。

15	17	周産期医療ネットワーク強化事業	46,171	健診や分数の情報を共築すること 制を確保し あわせて,	他情報等,好 有するネッ! で,リスクに尿 ,早期の育! セミオープ	概要 一線において 上級から出産 トワークシスラ なじた健診・ク 児支援を行う ンシステムの 外来の利用	後まで テムを構 分。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	婦ワー北一赤が修託問題をは、これの一北一赤が、やしたの一北一赤が、やした産り、	機関や健認を 機関から出るを のこれでいるのでである。 のこれでである。 でいるでは、 のこれでである。 でいるでは、 で	機関,検急機関,検急を 機関,検急を 機製での 機楽した。 のはでいて はいて はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる	正状況・成男 を機関、大大 情報を共 に、大を委より生 の研修 に、 の研修 に、 の研修 に、 の研修 に、 の研修 に、 の研修 に、 の研修 に、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が	政等大会たま本たまたたたた施生とたたがよでよ
		保健福祉部		①必要性	事業の	の分析結果 ③効率性	次年度の	方向性	年度	[別 決 算(]	見込)額(千	一円)
		医療整備課		妥当	ある程度 成果が あった	効率的	維持	寺	H22 H23 H24 H25 - 1,132 20,684 46,171			
	決算	草(見込)額計	2,005,675									
決算	(見)	込)額計(再掲分除き)	2,002,402		·	_	·	·	·	·	·	

平成25年度

政策 6 施策 13

取	組に	関連する宮	城県震災征	复興推進	事業							
評価番	事業番	事 業 名	平成25年度 決算見込額 (千円)				事第	美の状況	兄			
号	号	事業主体等	特記事項									
1	1	児童福祉施設等 給食安全·安心 対策事業		ける放射性ため、給食	物質の有無 一食につい 市町村がま	既要 供される給作 について把 て事後検査・ を施する検査	握するを実施	県有	平成25 5 実施(補助: 施設 3施記 村施設(私	対象) 施設 設		E
		保健福祉部		①必要性		の分析結果 3効率性	次年度 <i>(</i>	方向性	年度	医別決算(5	見込)額(千	円)
		子育て支援課	震災復興 2① ❶	概ね妥当	ある程度 成果が あった	概ね効率的	維		H22 -	H23	H24 999	H25 690
					事業相				平成25年	L F度の実施		Ę
2	3	子どものこころ のケア推進事業	14,459	支援を行う 成される「一 回相談等を	ため,児童* 子どもの心の と行う。また,	負った子ども 請神科医等に ケアチーム」 市町が実施 派遣を行う。	こより構 が, 巡 する乳	延べ64 ・乳幼! 70回	1日,76か月 見健診への	所)心理士派	(H25.4~ 遣(H25.4 -H25.12)	~H26.1)
		保健福祉部		①必要性		の分析結果 3効率性	次年度(· 大向性	年度	医別決算()	見込)額(千	円)
		子育て支援課	震災復興 2② ❶	妥当	成果があった	概ね効率的	維持		H22 -	H23 6,489	H24 9,154	H25 14,459
3	4	被災児童やその 家族等を支援す るための相談・ 援助事業	34,596	を実施する町村を通じ	NPO等のE て補助金を	版要 との家族等へ 団体に対し, 交付し,被災 活動を促進・	県が市 と地にお	(主な: ・子ど: ・一・被等の	績:5市町 支援内容別 の遊び場 預かり等補 見童等の心 実施事業:	,32団体 J内訳〉 の提供事 完事業:15 ぶを癒すイ :19団体		d会•相談
		保健福祉部		○ > = 44		の分析結果	%-F-===		年度	E別決算(!	見込)額(千	-円)
		子育て支援課	震災復興 2② ❶	① 必要性 妥当	②有効性 ある程度 成果が あった	③ 効率性 効率的	維持 維持		H22	H23 7,252	H24 19,536	H25 34,596
4	5	子ども支援センター事業	60,340	で設置され 援センター	事業権 関する支援を た東日本大 に対し,専門 啓発事業を	を行うため,目 震災中央子 月職員の派遣 委託するもの	・ども支 豊や研修	人 ・保育所 H26.2)	精神科医等 所。幼稚園):43回	等の派遣(I 等職員向	世状況・成男 H25.4〜H2 け研修(H2 (26.2):403	26.2):47 25.4~
		保健福祉部		①必要性		の分析結果 3効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算(見込)額(千	円)
		子育て支援課	震災復興 2② ❶	妥当	成果があった	概ね効率的	維		H22 _	H23 3,664	H24 26,553	H25 60,340
			L		–					-,	,000	,- 10

_												
5	6	東日本大震災み やぎこども育英 基金事業	266,100	め, 国内外	事業権 護者を亡くし から寄せられ 活用すること ・支援する。	た子どもた た寄附金を	を基金に	就学児 ※給付 ①月額	こより生計 〜大学生 金の種類 金:10,000	を一にする等に奨学会	金等を支給 00円	亡くした未
		保健福祉部	取組15 再掲		重業 (の分析結果						
		子育て支援課	дхл <u>етт</u> т тга	①必要性			少年度 () 古向性	年度	を別決算(り	見込)額(千	-円)
			電巛海 卿			の効ギュ	次 干皮♥	ノ/J I ^E J Iエ	1100	1100	1 1104	LIOE
		教育庁	震災復興	妥当	成果が	効率的	維		H22	H23	H24	H25
		総務課	220	タコ	あった	<i>y</i> y1—113	//压:	1.1	_	249,960	288,200	266,100
					車希祖	正西			立式で	上 中の字が	█状況·成身	. ∄
6	7	震災遺児家庭等 支援事業	4,784	(震災遺児	事業権震災により被家庭)となった送ることが	皮災し, ひとり た世帯が自 いできるよう,	立し,安	度の啓布した。・ひとりし、県の	親家庭及る 発等を図る 親家庭の	び各関係核 るための冊 生活実態や 計画策定	後関に対し	,支援制 成して配 ズを把握
		保健福祉部				の分析結果			午 庄	F別決質(E	見込)額(千	- 四)
		IN KETHILLIN		①必要性	②有効性	③効率性	次年度σ)方向性	نا ۱۰	- M M チ ()		1 1/
			震災復興		ある程度	声がされる			H22	H23	H24	H25
		子育て支援課		妥当	成果が	概ね効率	維	持			700	4.701
			220		あった	的	/1-144.		_	-	736	4,784
\vdash					事業根	正西			亚式			
				400000			D 67 14	/n				•
7	8	認可外保育施設 利用者支援事業	37,500		認可外保育。 経減するため 前助を行う。			施設利	用の継続:	が図られた	:子育て世 [:] :。 象児童294	
					市 类 /	の分析結果		L				
		保健福祉部		○ × = ₩			15 F # 6	~ -1- - -1-4-	年度	医別決算(5	見込)額(千	-円)
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度0)万何性				
		フ女子士短冊	震災復興	亚亚	成果が	概ね効率	ψH	社	H22	H23	H24	H25
		子育て支援課	220	妥当	あった	的	維	17	_	56,477	54,921	37,500
Н					中来和	I #			₩ ctor t	・ 中の中世		·
8	9	保育所保育料減 免支援事業	464,814	担を軽減す	事業権 認可保育所 るため,市町 ニ対して補助	利用者の経り		継続が		る子育で世	世帯の保育	•
		ᄱᄱᆉᅙᆀᅕᅋ			事業(の分析結果			ب ہو	E Dil 24 75 7 5	= '1 \ \$\frac{1}{2} \ \	т П)
		保健福祉部		①必要性		③ 効率性	次年度 <i>σ</i>)方向性	年度	[別决算(見込)額(千	-H)
			震災復興						H22	H23	H24	H25
		子育て支援課	220	妥当	成果が あった	概ね効率 的	維	持	-		374,550	464,814
			44 U		めつに	山				551,940	314,330	404,814
					事業概	既要			平成25年	手度の実施	√状況・成身	#
9	10	保育士確保支援 事業	332,775	保について	り困難となっ 「支援を行う。		士の確	・保育 169か月	听	文善臨時特	+例事業:20 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
		ID 654-11 4-			事業(の分析結果					= \ 1 \ += /	·
		保健福祉部		①必要性	②有効性		次年度(方向性	年度	[別決算(見込)額(千	-円)
			震災復興		ある程度		八十尺。	- 7-J [二]	H22	H23	H24	H25
		子育て支援課 子育で支援課		妥当	める住及 成果が	概ね効率	拡	去	1122	1120	1124	1123
		」月し入坂林	220	女当	放米があった	的	104	<i>/</i> L	_	-	-	332,775
Н						<u> </u>			<u>स्</u> र - 	L t		<u> </u>
10	11	被災保育所等災 害復旧事業	169,732		保育所の復	旧整備を支払	爰する。	育の場		夏旧整備が いた。	函状況・成 り 行われ, 良	-
		保健福祉部				D分析結果			在 庄	別決質(目	見込)額(千	-円)
		N CET田江山)		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	+ 5	かの子(り	心心/領(丁	1 1/
		フカナナボニ	震災復興	西山	成果が	는	L.J -		H22	H23	H24	H25
		子育て支援課	220	妥当	あった	効率的	拡	尤	-	146,655	663	169,732
igsquare			<u> </u>	<u> </u>	l	l	I			<u> </u>		

事業概要 平成25年度の実施状況・成果 仮設住宅サポートセンター支援 り,987 では活できるよう被災市町のサポートセンター支援 事業 り,987 では活動する子育で支援団体の育成,団体間のネットワークづくりを促進するため,セミナーや支援団体間の会議等について,NPO法人に委託し,実施する。 年度別決算(見込)額(千円) 保健福祉部 子育で支援理 成果が 効率的 年度別決算(見込)額(千円) 日本の方向性 日本の方向析的方向性 日本の方向性 日本の方向的方向性 日本の方向析的方向性 日本の方向性 日本の方向析的方向析的方向析						事業机	既要			平成25年	年度の実施	⊡状況・成身	!
変数復興 次子育で支援課 変数復興 次子育で支援課 変数復興 次子育で支援課 次子育で支援課 次子育で支援課 22	11	13		3,837			規模な修繕	や備品	する経費 環境の最	費につい。 最適化が	て補助を行 図られた。	ったことに	より,保育
子育て支援課 220			保健福祉部		①必要性			次年度の	方向性	年度	度別決算()	見込)額(升	-円)
事業概要 平成25年度の実施状況・成果 接災者を旧事業 接災者を旧事業 38.595 設の復旧を支援センター等、子育て支援地 大事業の分析結果 10.699 では、一次では、大事業の分析結果 10.699 では、一次では、大事業の分析結果 10.699 では、大事業の分析結果 10.699 では、大事業の方向性 10.699 では、大事業の方向性 10.699 では、大事業の方向性 10.699 では、大事業の方向性 10.699 では、大事業の方向性 10.699 では、大事業の方向性 10.699 では、大事業・大事業・大事業・大事業・大事業・大事の方のでは、大事業・大事業・大事業・大事業・大事業・大事業・大事業・大事業・大事業・大事業・			子育て支援課		妥当		効率的	縮	小				
14				220			 野要				,		
(京)	12	14		38,595	域子育て支	児童館や放 で援センター	課後児童ク			延施か所数			is.
### (日本) 日本			保健福祉部		①必要性			 次年度 <i>(</i> *))方向性	年度	度別決算(5	見込)額(千	-円)
10,899 10,899			子育で支援課			成果が	概ね効率						
10.699 10.699 10.699 被災私立保育所及び認可外保育施 ・私立保育所2か所 一部 200			717 2212121	2(2)2	X -1			// // //					· ·
保管福祉部	13	16		10,699		私立保育所 を備を支援す	及び認可外 ⁻ る。	保育施	•私立保				2
要当 成果が あった 効率的 廃止 122 H23 H24 H25 10,699			保健福祉部		①必要性			 次年度の)方向性	年度	度別決算(見込)額(千	-円)
#業概要			子育て支援課			成果が			. 1				
(保育所等複合化・多機能化推進事業 1市1町に補助(石巻市,南三陸町) ※繰越事業 1市1町に補助(石巻市,南三陸町) ※繰越事業 2②② 2②② 2③② 2③② 2③② 23③② 23③③ 233○○ 23							L 既要			平成25年	·	ŕ	ŕ
(保健福祉部 表) (元) 表 (元)	14	17	化•多機能化推	3,520	園, 放課後 点などの子	において保 児童クラブ, ・育て関連施	育所, 認定。 地域子育で 設を複合化	(支援拠 (·多機能	※繰起		一卷市,南	三陸町)	
子育て支援課 2②②			保健福祉部		①以西州			1 勿年度 <i>《</i>	大白州	年度	度別決算(見込)額(千	-円)
***********************************				震災復興						H22	H23	H24	H25
 仮設住宅サポートセンター支援事業 保健福祉部子育て支援課 子育て支援課 決算(見込)額計 仮設住宅サポートセンター支援事業 仮設住宅サポートセンターを中心に活動する子育て支援団体の育成,団体間のネットワークづくりを促進するため、セミナーや支援団体間の会議等について、NPO法人に委託し、実施する。 事業の分析結果 年度別決算(見込)額(千円) 一方で支援課 受当 成果があった 効率的 維持 中22 日末現在 ※平成26年2月末現在 ・セミナー等延べ開催回数:82回※ ※平成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末現在 ※中成26年2月末日本 ※中成26年2月末日本<th></th><th></th><th>子育て支援課</th><th>220</th><th>妥当</th><th></th><th>効率的</th><th>維持</th><th>等 </th><th>-</th><th>-</th><th>-</th><th>3,520</th>			子育て支援課	220	妥当		効率的	維持	等	-	-	-	3,520
 「少要性」②有効性」③効率性 次年度の方向性 年度別決算(見込)額(十円) 一 大算(見込)額計 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性 年度別決算(見込)額(十円) 一 対象的 維持 - 1,755 9,800 9,987 一 カスラック・カラック・カラック・カラック・カラック・カラック・カラック・カラック・カ	15	18	トセンター支援	9,987	て生活でき ターを中心 育成,団体 るため,セ	において, - るよう被災市 に活動する 間のネットワ ナーや支援	子育て世帯/ 5町のサポー 子育て支援 7ークづくりを 受団体間の会	-トセン 団体の :促進す :議等に		一等延べ	開催回数:		L
一 			保健福祉部		①必要性			次 年度€)方向性	年度	度別決算(見込)額(千	-円)
			子育て支援課			成果が							H25 9,987
決算(見込)額計(再掲分除き) 1,186,328		決算	算(見込)額計	1,452,428		·	·	•———					•
	決算	(見辺	Name (再掲分除き)	1,186,328									